

【英文の秘密保持契約（NDA）具体的な事例をもとに解説】

英文NDA～生成AI時代の知識スキル取得講座

AIでは代替することができない取得すべき知識、能力とは？

【講師】

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 外国法共同事業 スペシャル・カウンセラー弁護士 大槻 由昭 氏

【講義概要】

本講座は、英文の秘密保持契約（Non-disclosure Agreement. NDA）について、AI時代だからこそ必要な知識やスキルの習得を目指す講義です。具体的には、NDAの典型的な条文例を題材として、講師が作成した架空事例についての論点を解説します。昨今の生成AIの発達によって、和文英文問わず、NDAの条文知識そのものは、誰でも簡単に手に入る時代になりました。そのような生成AIの時代にこそ、人間に求められる知識やスキルとは何なのか、という問いに正面から取り組むための講義です。この課題に取り組むため、本講師が、とある生成AIに対して、ために「生成AI時代に人間に求められる知識やスキルとは何か？」という問いをインプットしたところ、以下の回答を得ました：「生成AIが知識の説明や条文解説を担う時代には、人間には知識そのものではなく、事実関係を踏まえた判断力、交渉力、リスク評価力、そして複数の選択肢から最適解を導く能力がより強く求められる。」。かかる生成AIのコメントを踏まえ、本講義では、英文NDAを題材として、AIでは代替することができない、真に人間に求められる知識能力の習得を目指します。

【重点講義項目】

1. 生成AI時代に求められる英文NDAの知識スキル ～講義の目的解説編

◆ 概要欄に記載をしました生成AIのコメント：「生成AIが知識の説明や条文解説を担う時代には、人間には知識そのものではなく、事実関係を踏まえた判断力、交渉力、リスク評価力、そして複数の選択肢から最適解を導く能力が、求められる。」という指摘を踏まえて、「AI時代に、英文NDAに関して人間が習得すべき知識スキルは何なのか？」という視点で、本講座における習得のポイント（講義の目的）を、まず解説します。

2. 生成AI時代に求められる英文NDAの知識スキル ～ケーススタディ編

◆ 具体的な事例（ケーススタディ）を通じて、生成AIでは代替ができないスキルの習得を目指します。

- (1) ケーススタディ～守秘義務の定義範囲が問題となる事例～
- (2) ケーススタディ～Representativeへの許容開示が問題となる事例～
- (3) ケーススタディ～法令等による開示要求が問題となる事例～
- (4) ケーススタディ～秘密情報の破棄変換が問題となる事例～

◆ ケーススタディの設問例（イメージ）

「とある日系企業A社は、X国のB社との間で、両社の新規の共同事業構想にかかる秘密情報を交換する目的で、守秘義務契約（NDA）を締結した。NDA締結後の某日（仮に、2025年12月1日であったとする。）に、A社とB社それぞれから、当該新規共同事業にかかるプロジェクトメンバーが集う会議（以下「本件会議」という）が開催され、その場で、A社が開発中の新規技術にかかる未公開の情報（以下「本件秘密情報」という。）が、B社の参加メンバーに対して開示された。ところが、（中略）。・・・この事例において、A社は、B社による本NDAの違反を問うことができるか。」

※当講義の録画、転送、撮影等、スクリーンショット等を禁止しています。講義は著作物であり、主催者 に無許可で録画や撮影した場合には著作権法違反になります。テキストは紙資料では無く、PDFの配布となりますのでご了承下さい。また、法律事務所ご所属の方は、お申込みご遠慮願います。

講師略歴

2004年 東京大学法学部卒業、弁護士登録（第一東京弁護士会）。2011年 米国のUniversity of Southern California Gould School of Law (LL.M.)。2012年 ニューヨーク州弁護士登録。2011年 ロンドンのNorton Rose Fulbright法律事務所勤務。2012年 香港のWoo Kwan Lee & Lo法律事務所勤務。

・直近のセミナー開催実績：英文契約を題材としたセミナーとして、「英文契約書の実務 基本編～具体的な事例を交え解説 ～日本語の契約書を英訳すれば、英文契約が完成するのか～」(日本ナレッジセンター。2026年)、「英文契約書の実務 実践編～主要条項を読み解く ～問題となり得る論点について、具体的な事例（契約書サンプル）に基づいて解説～」(日本ナレッジセンター。2026年)など。

開催日時

2026年10月13日(火) 13時30分～16時 (開場&オンライン受付開始 13時15分)
(セミナー終了時間につきましては、Q&Aにより10分程度前後致します)

受講方法

- ① 会場受講 ワイム貸会議室 赤坂スターゲートプラザ 東京都港区赤坂2-3-5 赤坂スターゲートプラザ 地下1階
(定員になり次第、会場受付は終了致します。その場合は、オンラインでご受講ください)
- ② Zoom (オンライン) 受講 各自のPC等でご聴講下さい。
* Zoomの使用が可能かどうかをお申込み頂く前にご確認ください。
- ③ 後日録画受講 (当日都合が合わない方への配信となります。上記①、②の参加者を対象とした録画配信は行っておりません。録画は配信日より1週間、何度でもご都合よい時間に視聴できます。
なお、講師への質問はできません。) *配信日は開催日の1週間後頃になります。(Vimeo使用)

参加費

1名 28,380円 (25,800円+消費税) 2名 (同一法人) 同時申込 51,260円 (46,600円+消費税)
注1) 2名同時申込料金は、同時申込以外の場合は適用されませんのでご了承下さい。
注2) 振込手数料はご負担願います。 注3) オンライン聴講に必要な通信料は含まれておりません。

申込方法

1. 下記の申込欄をご記入の上、FAXまたはEメールにてお申込下さい。Eメールで申込まれる際は、フォームはご自由にて結構ですので申込み欄の記載事項をお送りください。お申込みを受信致しましたらご受講の流れをメールいたします。
2. お申込を頂きますと、ご請求書をPDFにてお送り致します。紙請求書の郵送をご希望の方は申込時にお知らせください。お申込をされてから、3日程度経過してもご請求書が届かない場合はご一報頂けましたら幸いです。
3. 参加費は開催前日までに請求書に記載の銀行口座へお振込み下さい。
開催後のお振込みとなる場合は、下記の申込書内の「お振込み予定日」を必ずご記入下さい。
4. 定員になり次第締め切りますので、早めにお申込下さい。
5. 振込先：みずほ銀行 新橋支店(店番号130) 普通2288581 口座名：株式会社日本ナレッジセンター

ニホンナレッジセンター

(申込み先) (株)日本ナレッジセンター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-12 TEL:03-5511-8668
Eメール: info@jkcc.jp FAX :03-5511-0707
webからのお申込(<https://jkcc.jp/2024/05/14/liveseminar/>)



キャンセル (お申込み後の取消し) について、お申込前に十分にご確認下さい。

注) キャンセルをされる場合は、FAX又はEメールにてご連絡下さい

【キャンセル料】①開催日より7日前まで (土日及び祝日を除く)・・・無料 (10月5日迄)

注) お客様のご都合によりキャンセルされる場合、返金時の振込費用をご負担下さいますようお願い致します。

②開催日より6日前から (土日及び祝日を除く)・・・参加費の全額 (10月6日以降)

注) ②の場合はセミナー資料の送付または代理人の出席をもって参加とさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。また、開催前日までにお振込みが完了していない場合でもキャンセル料はかかりますのでご注意ください。

参加申込書 FAXでお申込をされる場合はこの書面のみをお送り下さい (挨拶文不要)、着信のご連絡を申し上げます。

10月13日(火)開催【No261001 英文契約書の実務 基本編】 月 日 ご記入者氏名:

ご希望の聴講方法を☑して下さい。		☐ ①会場受講	☐ ②Zoom(オンライン)受講	☐ ③録画受講
会社・団体名				
所在地 〒 -				
TEL		FAX		
参加者ご氏名		フリガナ		所属部署・役職名
お振込み予定日	(開催後のお振込みの場合のみ記入) 年 月 日			
URL、テキスト配信 Eメールアドレス	@ ◆ セミナー告知のメール配信を希望される方は☑して下さい。 希望する ☐			
請求書送付先アドレス (上記アドレスと違う場合 ご記入ください)	@		◆ ☐ 紙請求書郵送希望(☑して下さい) (郵送希望の方にはPDFはお送りいたしません。)	

・ 当日は出席者(団体名)リストの配布を致しません。・ 講師へ団体名、部署、役職、氏名、メールアドレスを連絡しております。

ご記載頂きましたお客様の個人情報は、厳正な管理下で安全に保管し、当該セミナーに関する業務の処理及び今後のセミナーのご案内に利用させていただきます。また、当該セミナー講師以外の第三者へ情報を提供することはありません。

◆個人情報についてのお問合せ先：〒105-0001 港区虎ノ門1-12-12 株式会社日本ナレッジセンター 電話 03-5511-8668 info@jkcc.jp